

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

項目1. 化学物質等及び会社情報

製品情報

製品名 : AlphaPlus® C26-28
材質 : 1061434, 1037070, 1037069

会社名 : シェブロンフィリップス化学株式会社
Normal Alpha Olefins (NAO)
10001 Six Pines Drive
The Woodlands, TX 77380

緊急連絡電話番号:

健康:

866. 442. 9628 (北米)
1. 832. 813. 4984 (国外)

輸送:

CHEMTREC 800. 424. 9300 または 703. 527. 3887 (国際電話)
アジア : CHEMWATCH (+612 9186 1132) 中国 : 0532 8388 9090
メキシコ CHEMTREC 01-800-681-9531 (24時間)
南米 SOS-Cotec ブラジル国内 : 0800. 111. 767 ブラジル国外 : +55. 19. 3467. 1600
アルゼンチン : +(54)-1159839431
ヨーロッパ : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
オーストリア : VIZ +43 1 406 43 43 (年中無休)
ベルギー : 070 245 245 (年中無休)
ブルガリア : +359 2 9154 233
クロアチア : +3851 2348 342 (年中無休)
キプロス : 1401
チェコ : Toxicological Information Center +420 224 919 293、+420 224 915 402
デンマーク : Danish Poison Center (Giftlinjen) : +45 8212 1212
エストニア : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
フィンランド : 0800 147 111 09 471 977 (24時間)
フランス : ORFILA number (INRS) : + 33 (0) 1 45 42 59 59 (年中無休)
ドイツ : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
ギリシャ : (0030) 2107793777 (年中無休)
ハンガリー : +36-80-201-199 (年中無休)
アイスランド : 543 2222 (年中無休)

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

アイルランド : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
イタリア : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
ラトビア : State Fire and Rescue Service、電話番号 : 112、Toxicology and Sepsis Clinic
Poisoning and Drug Information Center (Hipokrāta 2, Riga, Latvia, LV-1038)、電話番号 : +371 67042473 (24時間)
リヒテンシュタイン : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
リトアニア : +370 (85) 2362052
ルクセンブルク : (+352) 8002 5500 (年中無休)
マルタ : +356 2395 2000
オランダ : NVIC : +31 (0)88 755 8000
ノルウェー : 22 59 13 00 (年中無休)
ポーランド : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
ポルトガル : CIAV 電話番号 : +351 800 250 250
ルーマニア : +40213183606
スロバキア : +421 2 5477 4166
スロベニア : 電話番号 : 112
スペイン : Spanish Poison Centre、緊急電話番号 : +34 91 562 04 20 (年中無休)
スウェーデン : 112 - 毒物に関する情報の問い合わせ

担当部門 : 製品安全性および毒性グループ
電子メールアドレス : SDS@CPCChem.com
ウェブサイト : www.CPCChem.com

2. 危険有害性の要約

物質または混合物の分類
JIS Z7252-2019 及び JIS Z7253-2019 に 従った GHS 分類及びラベル表示 (GHS 2015)

分類

GHS分類基準に該当しない。

ラベル付け

GHS分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

別名 : NAO 26-28
C26-28 (even numbered) α -alkenes (EU)
Reaction mass of 1-hexacosene and 1-octacosene (EU)

分子式 : Mixture
GHS(世界調和システム) によれば危険有害性成分は含まれていない。

4. 応急措置

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

- | | |
|-----------|---|
| 一般的アドバイス | : 特別な応急措置が必要になる危害要因はない。 |
| 吸入した場合 | : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。症状が持続する場合は、医師に連絡する。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。 |
| 眼に入った場合 | : 予防措置として、水で眼を洗浄する。コンタクトレンズをはずす。損傷していない眼を保護する。洗浄中は眼を大きく開ける。眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。 |
| 飲み込んだ場合 | : 気道を確保する。ミルクやアルコール飲料を与えない。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。症状が持続する場合は、医師に連絡する。 |

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|--|
| 引火点 | : 204-C (399-F)
方法: PMCC |
| 自然発火温度 | : 346-C (655-F) |
| 使ってはならない消火剤 | : 大型棒状の水。 |
| 特有の危険有害性 | : 化学物質の火災に対する標準手順。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。 |
| 詳細情報 | : 化学物質の火災に対する標準手順。現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。 |
| 火災および爆発の防止 | : 粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。 |
| 危険有害な分解生成物 | : 二酸化炭素、炭素酸化物。 |

6. 漏出時の措置

- | | |
|------------|--|
| 人体に対する予防措置 | : 保護具を使用する。粉じんの発生を避ける。粉じんを吸い込まないように留意。 |
| 環境に対する注意事項 | : 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。 |
| 除去方法 | : 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

安全取扱注意事項 : 皮膚や眼への接触を避けること。 個人保護については項目 8 を参照する。 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

火災及び爆発の予防 : 粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

保管

保管場所および容器の必要条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置**設備対策**

大気中濃度を曝露ガイドライン/制限未満に制御するよう適切な換気を行うこと。 工学的制御の設計や個人用保護具の選択の際には、本物質の潜在的危険性（第2節参照）、適用される曝露限度、作業活動、および作業場にあるその他の物質を考慮すること。 工学的制御または作業方法が、本物質の有害レベルにおける曝露の予防に十分でない場合には、以下の個人用保護具を使用することが推奨される。 保護は通常、限定的な時間または一定の状況下に対して提供されるものであるため、ユーザは装置に付属するすべての指示事項および制限事項を読んで理解しておくこと。

保護具

呼吸用保護具 : 通常の大気圧下において最小酸素容量の19.5容量%を維持するために、通気または工学的制御が適切でない限り、NIOSH認定送気呼吸器を着用すること。 空中への散布レベルが有害となるような作業を行う場合は、有機蒸気用の濾過式呼吸用保護具など、NIOSH認定の呼吸用保護具を着用すること。 有機系蒸気、粉塵、または霧用の空気清浄呼吸器。 制御されていない放出、エアロゾル化の可能性、曝露レベルが不明な場合、または空気清浄呼吸器では十分な保護が得られない可能性があるその他の状況では、陽圧、空気供給式の呼吸器を使用してください。

手の保護具 : 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。 手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。 また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。 手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候わずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えなければならない。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル。 保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。 必要に応じて着用。 軽量の保護服。 安全靴。

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。使用中は禁煙。休憩前や終業時には手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基礎物理および化学特性の情報

外観

形状 : ワックス。、 固体
 物理状態 : 固体
 色 : 白

安全性データ

引火点 : 204-C (399-F)
 方法: PMCC

爆発範囲の下限 : データなし

爆発範囲の上限 : データなし

酸化特性 : 非該当

自然発火温度 : 346-C (655-F)

分子式 : Mixture

分子量 : 変動幅あり。

pH : データなし

融点/ 範囲 : 51.7-C (125.1-F)
 方法: ASTM D-127

沸点/沸騰範囲 : 330-C (626-F)

蒸気圧 : 適用されない

比重 : 0.8

水溶性 : 炭化水素溶剤で溶解、水では不溶性。

n-オクタノール/水分配係数 : データなし
 (log 値)

動粘度 (動粘性率) : 3.27 cSt
 で 99-C (210-F)

相対ガス密度 : 適用されない

蒸発速度 : 適用されない

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

10. 安定性及び反応性

- 反応性** : 通常の周囲室温および圧力では安定。
- 化学的安定性** : この材料は、通常の周囲温度と予想されるストレージの下に安定したと見なされ、温度や圧力の条件を処理する。
- 危険有害反応可能性**
- 危険有害反応可能性** : 詳細情報: 推奨保管条件下では安定。、特に言及すべき危害要因はない。
- 避けるべき条件** : データなし。
- 混触禁止物質** : 酸素や強い酸化剤（塩素酸塩、硝酸塩、過酸化物など）と反応することがある。。
- 危険有害な分解生成物** : 二酸化炭素
炭素酸化物
- その他のデータ** : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。。

11. 有害性情報

- AlphaPlus® C26-28**
急性毒性（経口） : LD50: > 5,000 mg/kg
種: ラット
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。
- AlphaPlus® C26-28**
急性毒性（吸入） : 推定無毒性
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。
- AlphaPlus® C26-28**
急性毒性（経皮） : LD50: > 2,000 mg/kg
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。
- AlphaPlus® C26-28**
皮膚刺激性 : 皮膚刺激はない。本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。。
- AlphaPlus® C26-28**

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

眼への刺激	: 眼への刺激なし。本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。
AlphaPlus® C26-28 感作	: 有害影響は見込まれない。類似する物質から得られたデータに基づく。
AlphaPlus® C26-28 誤えん有害性	: 吸引性呼吸器有害性には分類されていない。
AlphaPlus® C26-28 詳細情報	: データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 : 本物質は水生生物に有害であると考えられません。

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : 本物質は水生生物に有害であると考えられません。

藻類に対する毒性 : 本物質は水生生物に有害であると考えられません。

生分解性 : 本物質の即時的な生物分解性は期待できない。

残留性、分解性

移動性 : データなし

PBT アセスメントの結果 : この物質／混合物は0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質（PBT）または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質（vPvB）と懸念される物質を含有していない。

生態系に関する追加情報 : 本物質は水生生物に有害であると考えられません。、与えられた情報は、成分のデータと類似製品の生態有毒のデータに基づいています。

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性） : 本物質は水生生物に有害であると考えられません。

水生環境有害性 長期（慢性） : 本物質は水生生物に有害であると考えられません。

13. 廃棄上の注意

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

本物質は意図された目的に使用し、可能であれば再生利用すること。廃棄する必要がある場合、本物質は、RCRA (40 CFR 261) に基づき米国EPAに定義された、またはその他の州や地方自治体により定義された、有害廃棄物の基準が適用されることがある。適切な判断を下すために、所定の物理的性質の測定および規制対象物質の分析が必要な場合がある。本物質が有害廃棄物として分類されている場合には、連邦法により認可済みの危険廃棄物処理施設にて廃棄することが義務付けられている。

製品 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする 製品入り容器と同様に処分する。空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

ここに示される輸送の説明はバルク輸送に関するもののみであり、それ以外の包装済み製品輸送には適用されない（規制の定義を参照）。他の輸送説明要件（専門的名称など）については、米国内外モードに特有、および量に特有の、適切な危険物取扱規定を調べる。従って、ここに示す情報は本物質に対する船荷証券輸送記述に必ずしも一致しないことがある。物質の引火点は、SDSと船荷証券との間にわずかな違いがあることがある。

US DOT (米国運輸省)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

輸送に際し100°C以上の温度で出荷する時は、次の規制対象となります：

UN3257, ELEVATED TEMPERATURE LIQUID, N. O. S.,
(ALPHA OLEFIN FRACTION, C26-28) , 9, III

IMO/IMDG (国際海洋危険物)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

輸送に際し100°C以上の温度で出荷する時は、次の規制対象となります：

UN3257, ELEVATED TEMPERATURE LIQUID, N. O. S.,
(ALPHA OLEFIN FRACTION, C26-28) , 9, III (204° C)

IATA (国際航空輸送協会)

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

輸送に際し100°C以上の温度で出荷する時は、次の規制対象となります：

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

UN3257, 9: NOT PERMITTED FOR TRANSPORT

ADR（危険物の道路輸送に関する欧州協定）

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

輸送に際し100℃以上の温度で出荷する時は、次の規制対象となります：

UN3257, ELEVATED TEMPERATURE LIQUID, N. O. S.,
(ALPHA OLEFIN FRACTION, C26-28), 9, III, (D)**RID（危険物の国際輸送に関する欧州規則）**

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

輸送に際し100℃以上の温度で出荷する時は、次の規制対象となります：

UN3257, ELEVATED TEMPERATURE LIQUID, N. O. S.,
(ALPHA OLEFIN FRACTION, C26-28), 9, III**ADN（危険物の国際内陸水路輸送に関する欧州協定）**

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

輸送に際し100℃以上の温度で出荷する時は、次の規制対象となります：

UN3257, ELEVATED TEMPERATURE LIQUID, N. O. S.,
(ALPHA OLEFIN FRACTION, C26-28), 9, III

その他	: OLEFINS (C13 +, all isomers), S.T. 2, Cat.Y
-----	---

IMO認定機器による海上大量輸送

15. 適用法令**国内法規制****毒物及び劇物取締法**

: 非該当

労働安全衛生法

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

名称等を通知すべき危険物及び有害物
労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物） : 非該当

製造の許可を受けるべき有害物
表示要求の対象となる危険物質
有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

鉛中毒予防規則 : 非該当

製造等が禁止される有害物 : 非該当

特定化学物質障害予防規則 : 非該当

四アルキル鉛中毒予防規則 : 非該当

: 非該当

: 非該当

健康障害防止指針公表物質 : 非該当
収載

化審法

: 特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

化学物質排出把握管理促進法

: 非該当

その他の規制

消防法 : 危険物、指定可燃物に該当しない。

高圧ガス保安法 : 非該当

火薬類取締法 : 非該当

船舶安全法 : 危険物として規制されていない

航空法 : 危険物として規制されていない

既存化学物質リスト

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

欧州 REACH	:	本製品はREACH規則1907/2006/ECに完全に順守しています。
スイス CH INV	:	インベントリーに記載されている、または準拠している
アメリカ合衆国（米国） TSCA	:	TSCAインベントリーのActiveリストに記載されている、または準拠している
カナダ DSL	:	本製品中の成分は全てカナダDSLリストに記載されている。
その他 AIIC	:	インベントリーに従わない
ニュージーランド NZIoC	:	インベントリーに従わない
日本 ENCS	:	インベントリーに記載されている、または準拠している
韓国 KECI	:	この製品に含まれる1つまたは複数の物質は、登録されなかったか、登録するように通知されなかったか、あるいはK-REACH規則に従ってCPChemによる登録が免除されなかった。しかしながらこの製品の輸入または製造は、韓国登録輸入業者が自らこの物質を届け出ている場合には許可される。
フィリピン PICCS	:	インベントリーに記載されている、または準拠している
台湾 TCSI	:	インベントリーに記載されている、または準拠している
中国 IECSC	:	インベントリーに記載されている、または準拠している

16. その他の情報

詳細情報

レガシー SDS 番号 : 7965

前バージョンからの大幅な変更は、余白に強調表示されている。本バージョンは以前のすべてのバージョンと差し替えられる。

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

安全データシートで 사용되는キーまたは凡例から略語や頭字語まで			
ACGIH	米国内産業衛生専門家会議	LD50	50%致死量
AICS	オーストラリア既存化学物質インベントリー	LOAEL	最小有害影響量
DSL	カナダ国内物質リスト	NFPA	米国消防庁
NDSL	カナダ非国内物質リスト	NIOSH	米国国立労働安全衛生研究所
CNS	中枢神経系	NTP	米国国家毒性プログラム
CAS	化学情報検索サービス機関	NZIoC	ニュージーランド化学物質台帳
EC50	有効濃度	NOAEL	無毒性量

AlphaPlus® C26-28

版番号 1.11

改訂日 2022-04-28

EC50	50%影響濃度	NOEC	無影響濃度
EGEST	EOSCA一般暴露シナリオツール	OSHA	労働安全衛生庁
EOSCA	欧州油性化学物質協会 (European Oilfield Specialty Chemicals Association)	PEL	許容暴露限界
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー	PICCS	フィリピン商業化学物質インベントリー
MAK	ドイツ最大許容濃度	PRNT	推定無毒性
GHS	世界調和システム	RCRA	資源保全再生法
>=	以上	STEL	短時間暴露限界
IC50	50%阻害濃度	SARA	スーパーファンド改正・再承認法
IARC	国際癌研究機関	TLV	限度値
IECSC	中国現有化学物質名録	TWA	時間加重平均
ENCS	日本既存化学物質インベントリー	TSCA	有害物質規制法
KECI	韓国既存化学物質目録	UVCB	組成が不明または不定の構成物質、複雑な反応生成物及び生体物質
<=	以下	WHMIS	作業場危険有害性物質情報システム
LC50	50%致死濃度		